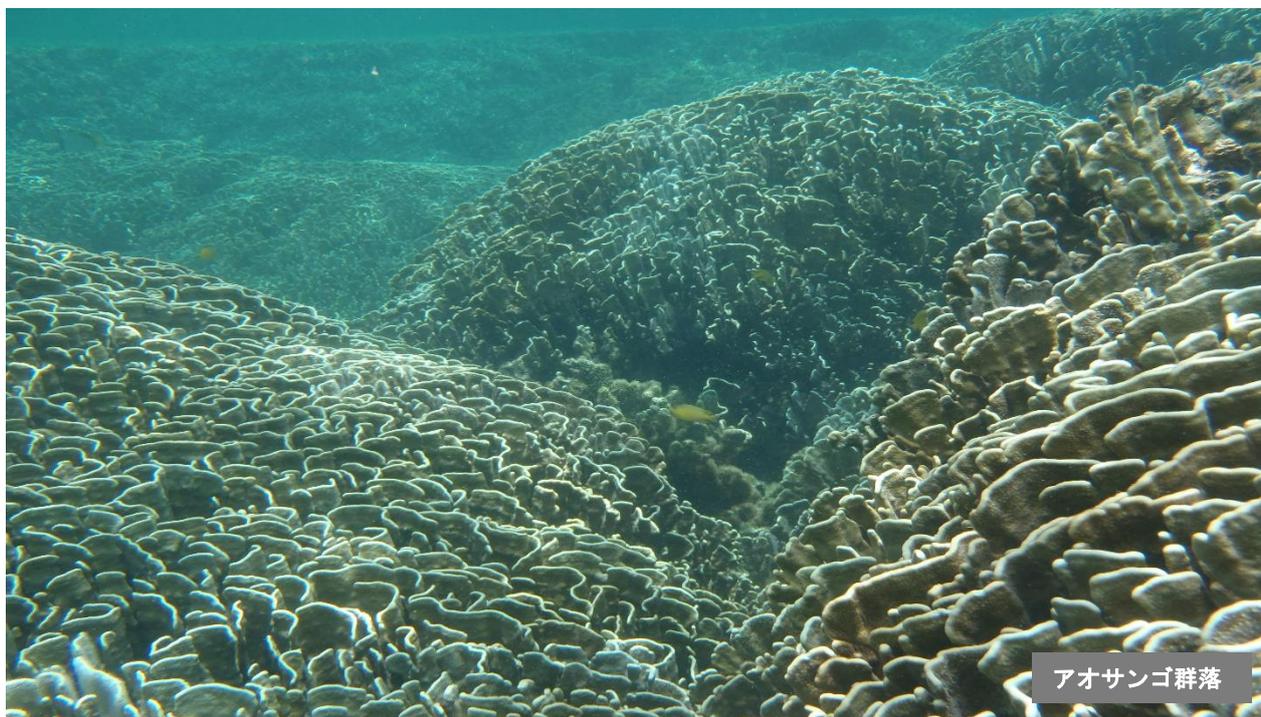


白保にリゾートホテルはいらない!

サンゴの海の海岸部に大型ホテル計画



計画の中止を求める署名にご協力を!



■住民運動・市民運動で守った白保の海

沖縄県石垣島・白保。この集落の地先に広がるサンゴ礁の海には、世界有数のアオサンゴが群生しています。かつてこの海を埋め立て新石垣空港を建設しようとする計画がありました。白保のオバアたちは体を張って反対運動を展開。「白保の海を守れ!」の声はしだいに国内外に大きく広がりました。そして約10年の粘り強い闘いの結果、計画は撤回され、白保のサンゴの海は守られました。住民運動・市民運動が、公共事業をストップさせた初めての例となりました。

いまこの海に隣接する海岸地域で、大規模なリゾートホテル計画が進められています。前面の海はまさにアオサンゴが群生しているエリアです。計画では東京ドームと同程度の約4万㎡の広大な土地に地上4階建てのホテル棟(165室)とヴィラ棟36棟が建てられる予定です。年間10万人の宿泊客を見込んでいます。事業主は「石垣島白保ホテル&リゾート」。今春着工の予定です。

■世界有数のアオサンゴ群落に再び危機! 地元公民館も反対!

この計画が実現すれば、ホテルからの排水により海の富栄養化が進み、海藻類が繁茂してアオサンゴ群落への影響は必至です。またこの浜で産卵するウミガメへの影響も危惧されています。そしてここは干潮になれば干上がるクシキヌワタンジの付け根にあたり、1km先のリーフまで歩いていくこともできるところです。多くの宿泊客がワタンジを歩いたりシュノーケルを楽しんだりしたら、サンゴが壊される恐れが十分に予想されます。いわゆるオーバーユースの問題です。この計画に対して地元白保公民館は、昨年

11月の臨時総会でほぼ全員一致で反対決議をあげています。

■リゾートホテルを一旦許せば・・・

石垣島は2013年の新空港開港以降、観光客は激増しホテルの建設ラッシュが続いています。観光バブル状態ともいうべきで、もはや自然が許容できる範囲を超えているとさえ言えます。そしてこのブームが過ぎれば、荒廃した建造物と回復不能な自然環境が残るだけにもなりかねません。また今回の事業地の周辺にはリゾート用の売地がたくさんあり、一旦リゾートホテルが建設されれば、さらなる建設をストップすることは困難です。

多くの人々の様々な努力と奮闘によって、新石垣空港の埋め立てを阻止し、守ってきた白保のサンゴ礁の海。それを一私企業の利益を追求する開発行為によって、破壊されることは許されるべきではありません。そしてまた見過ごすわけにもいきません。

私たちはリゾート事業者に対して、その社会的責任を果たすよう強く求め、計画の中止を要求する署名運動を行っています。ぜひご協力ください。

白保にリゾートホテルを建設してはいけない5つの理由

1、世界的財産アオサンゴ群集に危機！

ホテル計画地の目の前の海には、世界最大級のアオサンゴ群集が生きるサンゴ礁が広がっています。今回のホテル計画では、ホテルから流れる生活排水や汚水は敷地内で浄化槽によって処理をされたのち、その処理水を地下浸透させる予定となっています。しかしその浄化槽から排出される処理水の水質は、健全なサンゴ礁で見られる水質基準の100分の1にも及ばないのです！



2、絶滅危惧種であるウミガメはとても敏感

白保海岸は絶滅危惧種に指定されているウミガメの産卵地となっています。ウミガメの産卵は本来、人工的な光が届かないところで行われるため、スマートフォンの明かりだけでも、ウミガメは産卵を諦めて海に帰ってしまう繊細な生き物です。ホテルができれば、ウミガメは白保の海に帰って来ることができるのでしょうか？

3、過剰な観光利用の危険性！

観光客が過剰に増えた場合、海は、浜辺は、集落はどうなるのか・・・。過剰なシュノーケル利用者や干潮になれば干上がる海を歩く人によって壊されるサンゴ。浜辺のゴミ問題、水難事故や集落内での交通事故・・・。そして一番懸念されるのは「白保らしさ」が失われることです。過剰な観光利用によって今までバランスよく付き合ってきた「観光」と「暮らし」。これからどうなるのでしょうか。

4、どこまで責任を持てるの？ 転売されてしまったら・・・

もし地元の人たちと業者が、きちんとした協定を結んでホテルを建設したとしても・・・。数年後に転売されたらどうなるのでしょうか。もちろん経営が変われば経営方針も変わるでしょう。利用客層も変わるかもしれません。地元の人と業者間の協定が白紙に戻されることもあるかもしれません。事業者は2014年に予定地の隣に太陽光発電施設を開発しましたが、2017年には売却してしまいました。

5、白保村の「公民館指定文化財」を守り続けたい！

白保村の歴史は古く400年前にさかのぼります。その歴史や自然景観などは「公民館指定文化財」として大切に守られています。その文化財にも含まれる村の自然や景観を脅かす白保村でのリゾートホテル建設。海、畑、牧場、丘、川。これらの全ては村の宝でもあります。私たちはこの豊かな自然と景観を次世代に残し、守り続けたいのです。